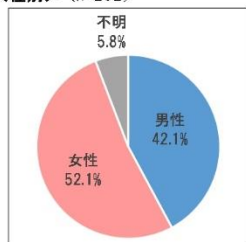


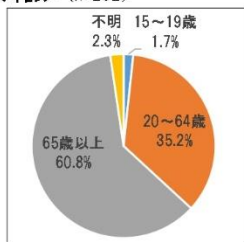
4 乙部町

(1)回答者属性

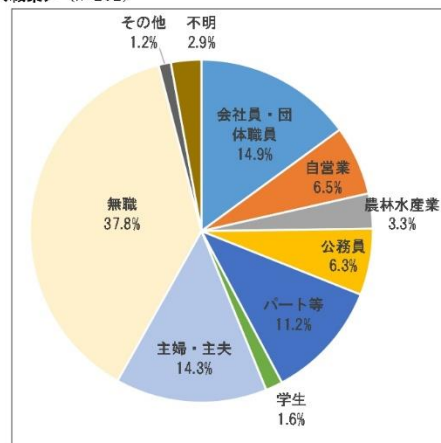
<性別> (n=252)



<年齢> (n=252)



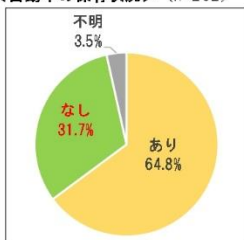
<職業> (n=252)



<運転免許の保有状況> (n=252)



<自動車の保有状況> (n=252)



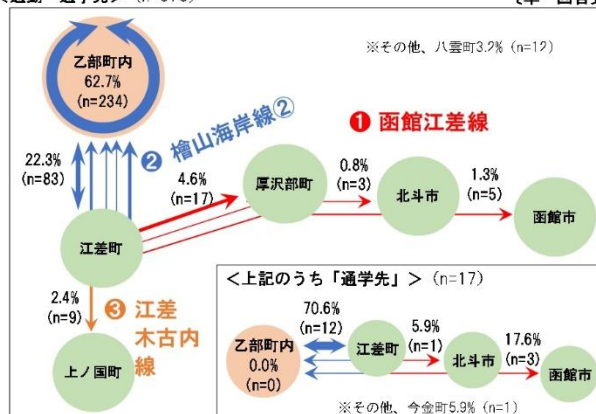
【乙部町①】

— 16 —

(2)通勤・通学

<通勤・通学先> (n=373)

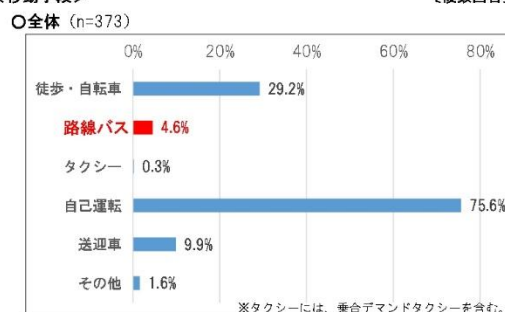
【単一回答】



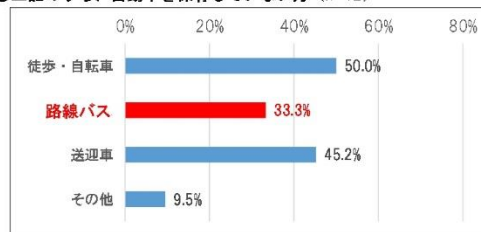
○通勤・通学では、町内での移動が最も多く、次に江差町への移動。
○全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは4.6%。
○うち、自動車を保有していない方では、路線バスが33.3%と、バスの利用割合が高くなる。

<移動手段>

【複数回答】



○上記のうち、自動車を保有していない方 (n=42)



※うち、学生 (n=17) では、路線バスが70.6%。

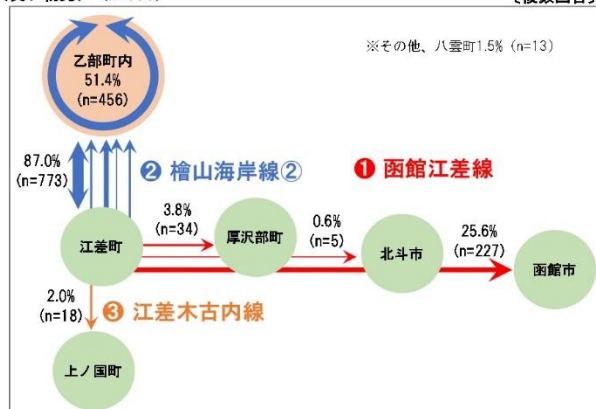
【乙部町②】

— 17 —

(3)買い物

<買い物先> (n=888)

【複数回答】



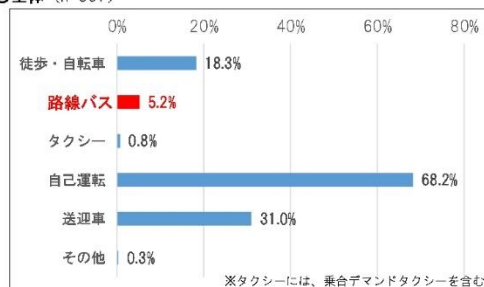
- 買い物では、江差町への移動が最も多く、次いで町内での移動。
- 全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは5.2%。
- うち、自動車を保有していない方では、路線バスが17.5%と、バスの利用割合が高くなる。

※自動車を保有していない方とは、アンケートの設問「運転免許・自動車の保有状況」で、「免許はあるが、自動車はない」「免許返納した」「免許を持ったことはない」と回答したものの合計。

<移動手段>

【複数回答】

○全体 (n=897)



○上記のうち、自動車を保有していない方 (n=228)



【乙部町③】

— 18 —

(4)通院

<通院先> (n=550)

【複数回答】



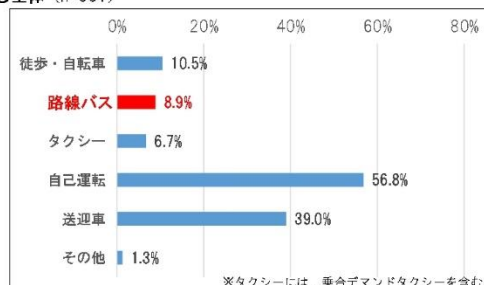
- 通院では、函館市への移動が最も多く、次いで町内での移動。
- 全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは8.9%。
- うち、自動車を保有していない方では、路線バスが20.9%と、バスの利用割合が高くなる。

※自動車を保有していない方とは、アンケートの設問「運転免許・自動車の保有状況」で、「免許はあるが、自動車はない」「免許返納した」「免許を持ったことはない」と回答したものの合計。

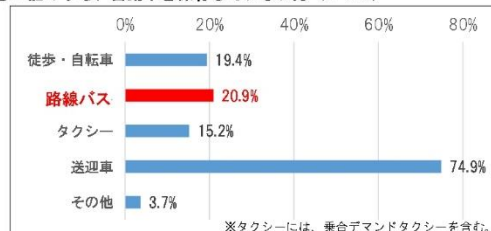
<移動手段>

【複数回答】

○全体 (n=551)



○上記のうち、自動車を保有していない方 (n=191)



【乙部町④】

— 19 —

(5)公共交通への意見

<高齢者の移動手段の確保>

- 路線バスの運賃がもっと安くなれば免許返納を考える。【80代以上男性、主夫】
- あと数年で免許返納したいが、一番の心配は交通手段。【70代女性、無職】
- 道立江差病院に行くのに、バスの運賃が1,000円近くかかる。病院代より交通費が高く、65歳以上は半額にして欲しい。【60代女性、主婦】
- 両親の通院のために仕事を休んでおり、函館市内の各病院へ乗継ぎなしで行けるようにして欲しい。【30代女性、会社員・団体職員】
- 車を運転しているが、万が一のことを考え、公共交通を維持して欲しい。【50代男性、公務員】

<乗継・乗換環境の整備>

- 他路線との接続時間を改善して欲しい。【30代女性、会社員・団体職員】

<待合環境の整備>

- バス停に屋根がなく、寒かったりするので、屋根のある待合所が欲しい。【80代以上女性、無職】
- 緑町のバス停が野ざらしで、雨や雪が降っている時は大変困る。【80代男性、無職】
- 片側のバス停にしか建物がなく、悪天候の日の待ち時間が大変。【50代女性、主婦】

<バス停の設置や運行体制の見直し(フリー乗降、デマンド)>

- 乗っている人が少ないので、家の前で止まって欲しい。【80代以上女性、無職】
- バス停まで遠いので不便。近くにバス停を設置して欲しい。【50代女性、会社員・団体職員】
- 家と家の間が離れていることから、停留所の設置が課題。【70代男性、無職】

<公共交通の情報提供・情報検索>

- 運行の時間帯が不明。【70代女性、無職】
- 待合所の中に、後何分でバスが到着するか分かるようにすると助かる。【50代女性、主婦】

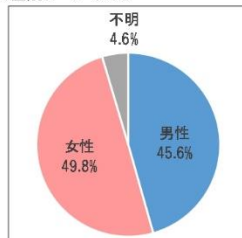
【乙部町⑤】

—20—

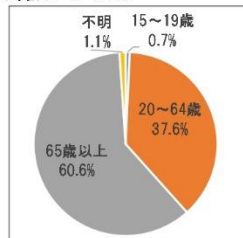
5 今金町

(1)回答者属性

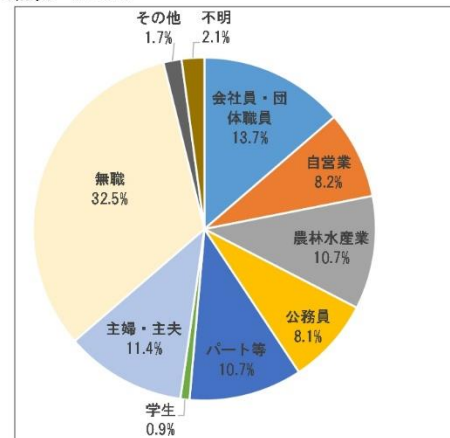
<性別> (n=936)



<年齢> (n=936)



<職業> (n=936)



<運転免許の保有状況> (n=936)



<自動車の保有状況> (n=936)



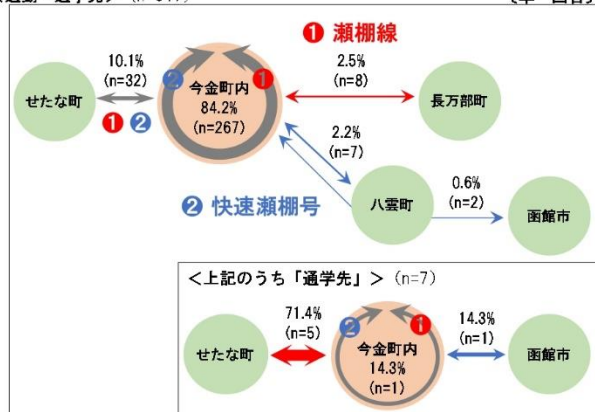
【今金町①】

—21—

(2) 通勤・通学

<通勤・通学先> (n=317)

【単一回答】

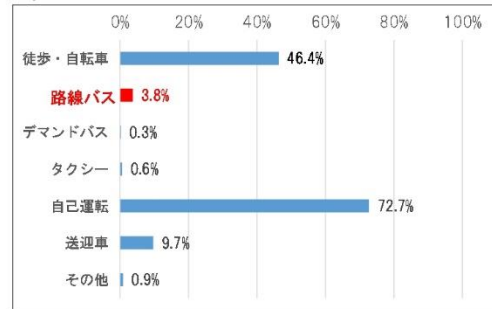


- 通勤・通学では、町内での移動が最も多く、次にせたな町への移動。
- 全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは3.8%。
- うち、自動車を保有していない方では、路線バスが26.7%と、バスの利用割合が高くなる。

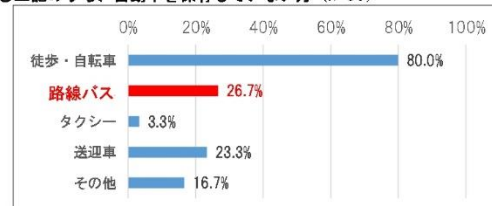
<移動手段>

【複数回答】

○全体 (n=319)



○上記のうち、自動車を保有していない方 (n=30)



※うち、学生 (n=7) では、路線バスが71.4%。

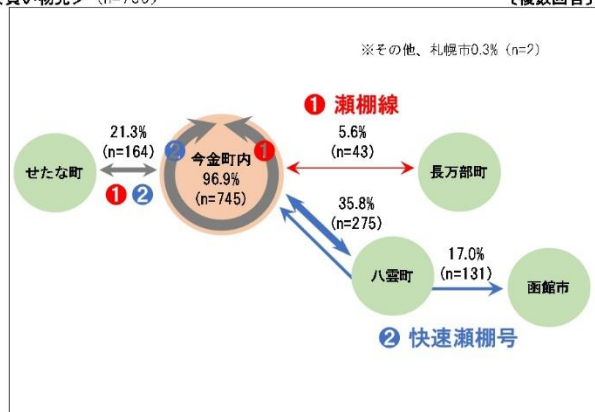
【今金町②】

— 2 2 —

(3) 買い物

<買い物先> (n=769)

【複数回答】



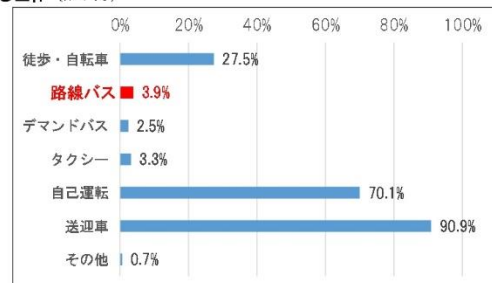
- 買い物では、町内での移動が最も多く、次いで八雲町への移動。
- 全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは3.9%。
- うち、自動車を保有していない方では、路線バスが15.1%と、バスの利用割合が高くなる。

※自動車を保有していない方とは、アンケートの設問「運転免許・自動車の保有状況」で、「免許はあるが、自動車はない」「免許返納した」「免許を待ったことはない」と回答したものの合計。

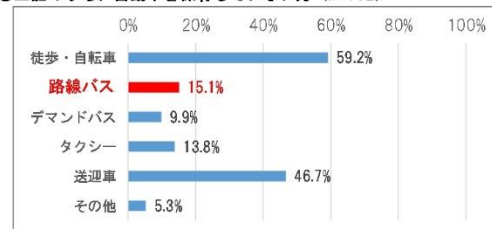
<移動手段>

【複数回答】

○全体 (n=768)



○上記のうち、自動車を保有していない方 (n=152)

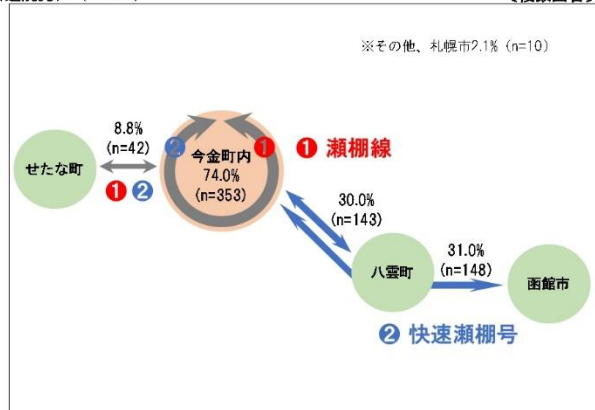


【今金町③】

— 2 3 —

(4)通院

<通院先> (n=477) 【複数回答】

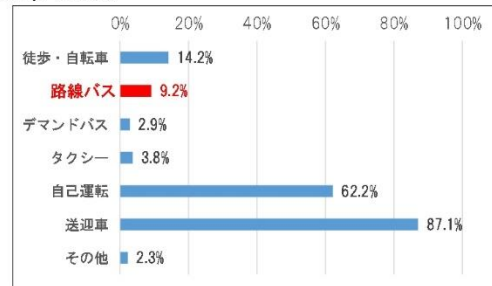


- 通院では、町内での移動が最も多く、次いで函館市への移動。
- 全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは9.2%。
- うち、自動車を保有していない方では、路線バスが21.7%と、バスの利用割合が高くなる。

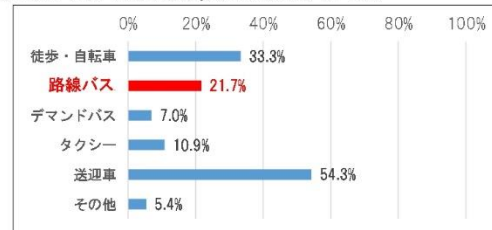
※自動車を保有していない方とは、アンケートの設問「運転免許・自動車の保有状況」で、「免許はあるが、自動車はない」「免許返納した」「免許を待ったことはない」と回答したものの合計。

<移動手段> 【複数回答】

○全体 (n=479)



○上記のうち、自動車を保有していない方 (n=129)



【今金町④】

— 24 —

(5)公共交通への意見

<高齢者の移動手段の確保>

- 二次医療圏の八雲へ行く交通が不便。八雲への直行バスを検討して欲しい。【60代女性、無職】
- 現在は公共交通の利用が少ないが、運転が難しくなり始めた時に、多目的で利用が増えると思う。【60代男性、農林水産業】
- まだ公共交通を利用していないが、将来、車を運転できなくなれば利用することになると思う。【70代男性、パート・アルバイト】
- 今のところ移動に不便はないが、免許を返納した時のことを考えると不安。【50代男性、会社員・団体職員】
- 札幌に行く時、今は長万部駅に車を置いてJRを利用しているが、路線バスがないと困る。【60代女性、無職】

<乗継・乗換環境の整備>

- 新型コロナ終息後、札幌等に出かけたいので、JRとの乗継ぎの良い時間の路線バスを維持して欲しい。【60代女性、パート・アルバイト】
- 函館や札幌への通院時に長万部駅まで路線バスを利用しているが、JRとの接続が良くないので改善して欲しい。【60代性別不明、無職】

<待合環境の整備>

- 路線バスの待合所を作って欲しい。【60代性別不明、無職】

<バス停の設置や運行体制の見直し(フリー乗降、デマンド)>

- バス停まで距離があり、利用したくてもできない。【40代女性、会社員・団体職員】

<公共交通の情報提供・情報検索>

- バスやJRの時刻表が手元にあると良い。【50代女性、主婦】
- どこに行けば乗れるのかも知らない。【70代女性、主婦】

<交通教育の充実>

- 妊娠中に路線バスを利用したが、高校生のマナーが悪くて(優先席に座れない、出口をふさぐなど)、何回も怖い思いをした。路線バスを利用する時は、学生が乗らない時間帯にしているが、子供と一緒に時には利用を躊躇。【30代女性、主婦】

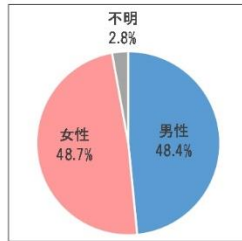
【今金町⑤】

— 25 —

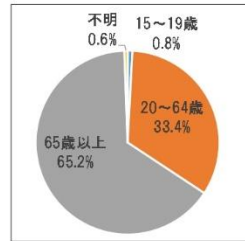
6 せたな町

(1)回答者属性

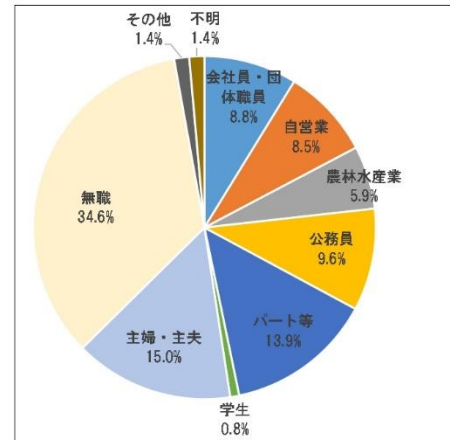
<性別> (n=936)



<年齢> (n=936)



<職業> (n=936)



<運転免許の保有状況> (n=936)



<自動車の保有状況> (n=936)



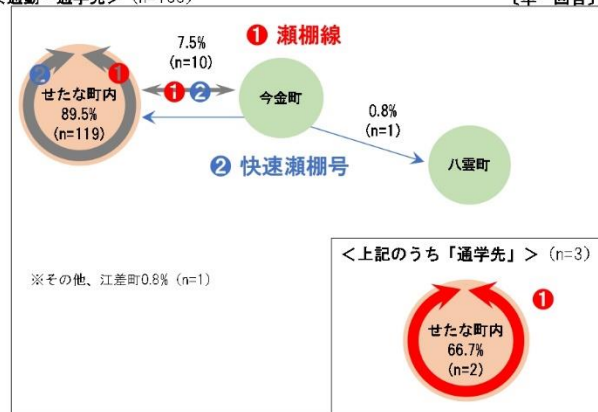
【せたな町①】

— 2 6 —

(2)通勤・通学

<通勤・通学先> (n=133)

【単一回答】

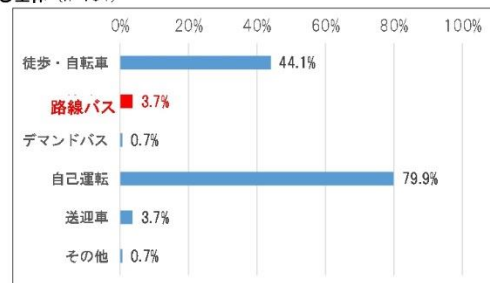


○通勤・通学では、町内での移動が最も多く、次に今金町への移動。
○全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは3.7%。
○うち、自動車を保有していない方では、路線バスが37.5%と、バスの利用割合が高くなる。

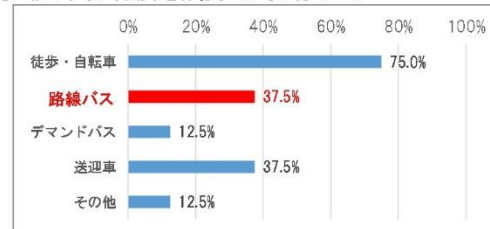
<移動手段>

【複数回答】

○全体 (n=134)



○上記のうち、自動車を保有していない方 (n=8)



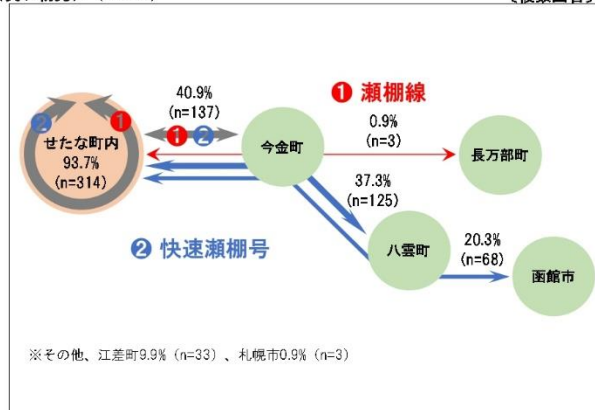
※うち、学生 (n=3) では、路線バスが100.0%。

【せたな町②】

— 2 7 —

(3)買い物

<買い物先> (n=335) [複数回答]

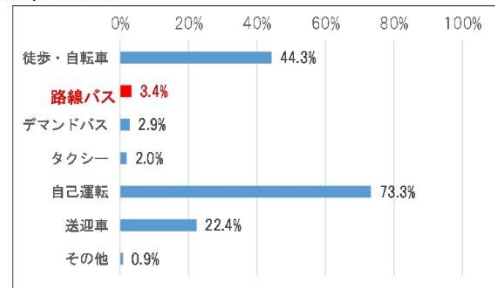


- 買い物では、町内での移動が最も多く、次いで今金町への移動。
- 全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは3.4%。
- うち、自動車を保有していない方では、路線バスが16.7%と、バスの利用割合が高くなる。

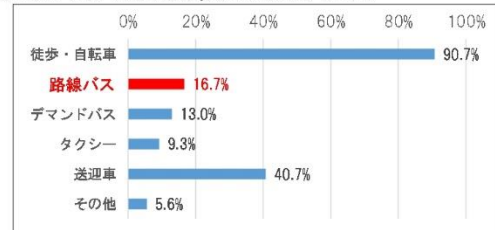
※自動車を保有していない方とは、アンケートの設問「運転免許・自動車の保有状況」で、「免許はあるが、自動車はない」「免許返納した」「免許を持ったことはない」と回答したものの合計。

<移動手段> [複数回答]

○全体 (n=348)



○上記のうち、自動車を保有していない方 (n=54)

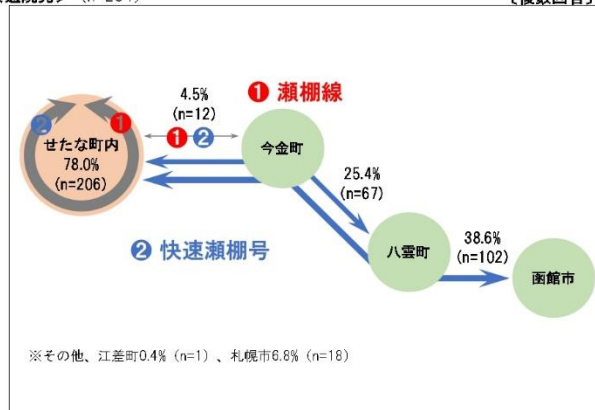


【せたな町③】

— 28 —

(4)通院

<通院先> (n=264) [複数回答]

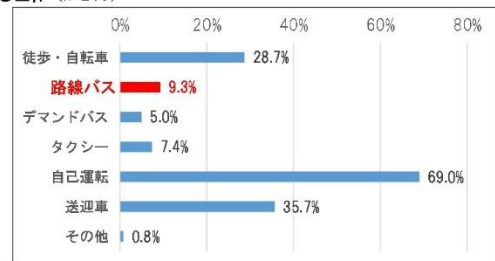


- 通院では、町内での移動が最も多く、次いで函館市への移動。
- 全体では、自己運転が圧倒的多数で、路線バスは9.3%。
- うち、自動車を保有していない方では、路線バスが18.2%と、バスの利用割合が高くなる。

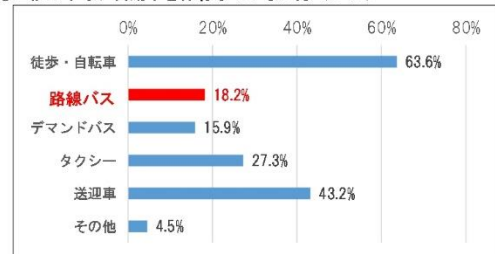
※自動車を保有していない方とは、アンケートの設問「運転免許・自動車の保有状況」で、「免許はあるが、自動車はない」「免許返納した」「免許を持ったことはない」と回答したものの合計。

<移動手段> [複数回答]

○全体 (n=258)



○上記のうち、自動車を保有していない方 (n=44)



【せたな町④】

— 29 —

(5)公共交通への意見

<高齢者の移動手段の確保>

- 今は元気だが、5年後には公共交通を利用するだろう。【70代女性、無職】
- せたな町に移住して1年だが、非常に観光資源に恵まれた地域。若年者は自動車を運転して観光するが、高齢者は不慣れな土地で自動車を運転することを控えがちになるのではと懸念。【40代男性、公務員】
- ほとんどが車での移動だが、このアンケートで免許返納やバスのことを真剣に考えねばと思った。過疎化が進む中、路線バスの確保も大変だと思うが、八雲へ午前2本、午後2本あるとありがたい。【70代男性、無職】
- 札幌へ通院したり、子供が帰省の際に路線バスを利用するが、本数が減り、時間が限定されて利用しづらくなった。この上、路線バスが廃止されると、通院や帰省が難しくなり大変困る。【70代女性、無職】

<通学生の移動手段の確保>

- 交通手段が少なすぎて困る。【10代女性、学生】

<乗継・乗換環境の整備>

- 路線バスがあるので外出できる。JRから乗換できない時は、帰宅が困難。【70代女性、無職】

<待合環境の整備>

- 高齢になったら、冬場はバス停まで歩いて行けず、また、バスの待ち時間、立って待ってられるか不安。【40代男性、会社員・団体職員】

<路線バスの利便性向上>

- 瀬棚線は、今金町内の旧国道を迂回するルートを廃止し、最短ルートにして欲しい。生活バスということは分かるが、北檜山から長万部まで90分もかかるのは、効率が悪く、住民や観光客も利用しづらい。【50代男性、会社員・団体職員】
- 新幹線の札幌延伸時には、せたなから八雲駅・長万部駅まで直行アクセスできる公共交通網の整備を希望。【60代男性、無職】

<公共交通の情報提供・情報検索>

- バス停の地名だけでは住民にしか分からず、観光地までの往来が不便なため、停留所にバスマップを置いて欲しい。【30代女性、主婦】

【せたな町⑤】

— 30 —